

GE-2-i-11	C 教育学ゼミナール	第2学年	後期 選択必修	1.5単位
担当者	吉澤(渡邊) 小百合			
一般目標 (GIO)	国際的・地域的な視点からグローバル化時代における教育を理解する。 我が国の教育を取り巻く国際的な重要課題について考察する。 日本の薬学教育と他国の薬学教育や薬剤師の役割の違いを知る。			
到達目標 (SBOs)	教育課題をグローバルな視点から把握する力を培う。 ・グローバル化時代における教育についての実情や意見を述べることができる。 ・教育に関する国際的な重要課題について、自分の意見を述べるができる。 ・日本と外国の薬学教育や薬剤師の役割の違いについて、述べるができる。			
受講心得・準備学習等	次回のテーマについて、用語事典やインターネットである程度調べておくこと。			
事後学習・復習等	授業で学んだことを復習して確認し、インターネット等でも関連する情報を収集すること。			
オフィスアワー	火・水 12:30~13:30 (メールによる質問・相談は随時受け付ける)			

授業の形式と各回の内容

授業の形式		講義・演習・SGD
回	項目	内容
1	オリエンテーション	授業内容の説明ほか
2	日本の教育(1)	日本における教育の変遷
3	日本の教育(2)	グローバル化と日本の教育
4	海外の教育(1)	先進国における教育
5	海外の教育(2)	発展途上国における教育
6	国際教育の課題	教育開発や国際機関の教育活動
7	海外の薬学教育	日本と海外の薬学教育の相違
8	海外の薬剤師	日本と海外の薬剤師の役割の相違
9	発表の準備	グループ内での発表課題の意見交換と準備
10	グループ発表(1)	学生によるプレゼンテーション(1)
11	グループ発表(2)	学生によるプレゼンテーション(2)
12	発表に関する意見交換	各プレゼンテーションへのフィードバック
13	総復習	これまでの内容についての復習
14	試験と解説	これまでに学んだ内容に関する試験と解説

成績評価の方法	授業への参加度(10%), グループ発表(20%), 課題提出(30%) 及び記述試験(40%)による総合評価
成績評価の基準	合計点が60%以上を合格とする。 授業内での発表や課題の提出で出席の確認を行い、授業内の発表も成績に反映させる。
教科書	プリントを配布する
参考書など	